

向島百花園が創設200周年!!

江戸時代の文化元年(1804)に創られた「向島百花園」が、今年、創設200周年を迎え、地蔵坂通りの「大縁日」(右記)など、地元の方を中心として、様々なお祝いのイベントが実施されました。

例年開催される、「大輪朝顔展示会」「虫聞きの会」「お月見の会」等も、今年は記念祝賀行事として開催され、地元の宮元町会でも、恒例の納涼大会に「百花園音頭」を作詞、披露して、みんなで踊りました。

特別なイベントとしては、かつて森鷗外も寺島村で開かれた会に顔を出したことがある「百物語の夕べ」(納涼落語会)が開かれ



ました。また、向島が演劇とも縁の深い地であることから、庭園そのものを背景とした演劇も公演されました。

すみだ歴史文化資料館では、8月中、百花園の資料を展示する企画展が開催され、すみだ学習ガーデンでは、園内の句碑について学ぶ講座も開かれました。

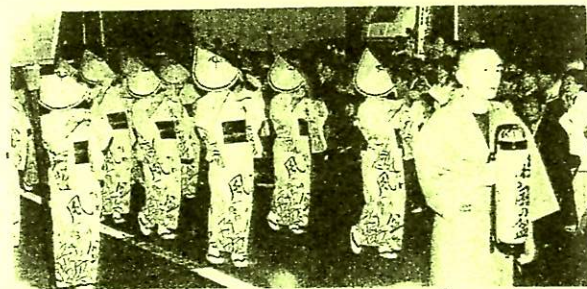
9月4日には、午前中に戦災で全焼した百花園を復興した元担当職員から色々なエピソードを聞き、午後からは「向島百花園を活かした緑のまちづくり」をテーマにしたシンポジウムが開かれました。お昼には、実行委員長を務めた黒田杏子さん(俳人)が、永六輔の土曜ワイドに生中継でインタビューを受けました。

賑わら向島の『通り』

今年、一言地域内の『通り』が、様々なイベントで賑わいました。まず、『地蔵坂通り商店街』では、九月四日と五日、地元向島百縁日」が開催されました。両日とも、お昼から通りは歩行者天国となり、ベーゴマや草笛の昔の遊びコーナーや大道芸人のパフォーマンス、墨田川高校の吹奏楽部やよしつね太鼓の演奏、下町かっぱれの演技などを楽しみました。特に四日の夕方から行われた記念カラオケ大会は、折からの豪雨の中となりましたが、熱唱とファンのもちろん商店街らしく、お買物スタンプラリーも一日から五日まで行われ、景品として用意された沢山のお花は、またたく間に引き取られていきま



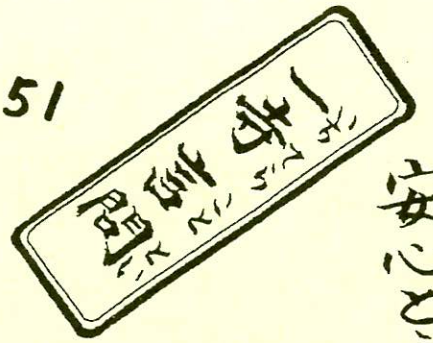
ました。十月二十三日のお昼から、『鳩の街商店街』で「ローカルキッチン」と名付けられたイベントとお店づくりの提案」の展示等が行われました。「ローカルキッチン」は「食」とおして街の交流と活性化を目指すもの、と「はとほつと」を主会場に商店街の各所に模擬店が開かれ、お店とあいまってたくさんのお客さんに楽しんでいただきました。「お店づくりの提案」は、空き家が増えた商店街を元気づけるためのアイデアを募集し、地元や商店街の皆さんに評価してもらおうというものです。二十二件の色々な楽しい提案が寄せられ、最優秀賞に理科大の後藤さん達が提案した「下町食堂 鳩の味」が選ばれました。



で、花柳界の雰囲気、舞の艶やかな披露、太鼓の音曲を、四、五十人の踊り手が、艶やかな舞いを披露しました。

同日の夕方からは、『見番通り』で「おわら風の盆 in 向島」が開かれました。新内の流れを酌む「おわら節」は、富山県八尾市で三百年以上にわたり語り継がれ、全国的にも知られています。今回、その振り付けを向島の踊りの師匠がアレンジした縁で、向島で舞っていただくことになりました。「鳩の街」と「見番通り」を激励に訪れた山崎区長をはじめ、たくさんのお見物人の中、向島二丁目睦町会の会館前から長命寺前まで、

No. 51



安心とつるおのり下町川の手をめぐって

防災まちづくり瓦版

発行一寺言問を防災のまちにする会

平成16年12月10日

いちてらこととい
一寺言問/防災まちづくり瓦版
編集/一寺言問を防災のまちにする会・編集局
発行/一寺言問を防災のまちにする会
代表 青木 隆雄
連絡先/墨田区都市整備担当地域整備課
〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel.(5608)6261

